



2008年7月4日

TonerSaver(トナーセーバー)が、UK-Japan 2008 公認プロジェクトに認定

株式会社スプライン・ネットワーク(本社:東京都渋谷区 代表取締役 雪野洋一)は、レーザープリンターのトナー消費量を最大50%削減し、コスト削減と環境保護を同時に実現するソフトウェア「TonerSaver(トナーセーバー)」が、英国大使館及びブリティッシュ・カウンシル主催の UK-Japan 2008 の公認プロジェクトに認定されたことを発表しました。

TonerSaver(トナーセーバー)は、英国オックスフォードに本拠地を置く Software Imaging の基礎技術を基に、株式会社スプライン・ネットワークが日本市場向けに開発したものです。

日英技術提携で開発されたソフトウェア「TonerSaver(トナーセーバー)」は日英両国の関係を祝うに相応しい商品として UK-Japan 2008 の公認プロジェクトとして認定されました。

UK-Japan 2008 は、2008 年が日英の外交関係が結ばれて 150 周年にあたることから、年内に開催される 250 を超える様々な公認イベントやプロジェクトを通じて、芸術、科学技術、クリエイティブ産業の分野で創造性あふれる現代の英国を紹介するとともに、日英間のコラボレーションの活性化と両国のさらなる発展をめざす催しです。

UK-Japan 2008 のホームページはこちら

⇒ <http://www.ukjapan2008.jp/>

TonerSaver(トナーセーバー)は、プリンタドライバーの技術を応用して開発した独自のアルゴリズムを用いて、レーザープリンターのトナー消費量をコントロール(年間最大 50% 削減)します。導入後は特別な操作をすることなく、高品位な印刷出力を維持しつつ、レーザープリンターの印刷コストを削減致します。同時に廃棄トナーカートリッジの量を抑制することから、コスト削減と環境保護を同時に実現する革新的なソフトウェア・ソリューションです。

TonerSaver に関する詳細情報についてはこちら

⇒ <http://www.tonersaving.jp/>(専用ウェブサイト)

株式会社スプライン・ネットワークの雪野社長は次のように述べています。

「TonerSaver(トナーセーバー)」は、株式会社スプライン・ネットワークと英国に本拠地を置く Software Imaging との包括的技術提携により開発されたソフトウェアです。日本と英国の外交関係が結ばれて 150 周年という記念すべき時に、英国大使館とブリティッシュ・カウンシル主催の UK-Japan 2008 公認プロジェクトの称号を頂いたことは大いなる荣誉であると感じています。」

株式会社スプライン・ネットワークについて

株式会社スプライン・ネットワークは、2002年にIT業界のエキスパートたちにより、企業向けソフトウェアの供給を目的として設立されました。株式会社スプライン・ネットワークは、システムインテグレーター、販売代理店を通じ、企業、官公庁、教育市場向けの高品質なソフトウェアの開発／販売と技術サポートをご提供しています。

株式会社スプライン・ネットワークに関する詳細情報はこちら

⇒ <http://www.spline-network.co.jp>

プレスリリースに関するお問い合わせ

株式会社スプライン・ネットワーク

東京都渋谷区渋谷2-6-11 花門ビル2F

TEL:03-5464-5468 トナーサーバー担当まで

e-Mail: sales-ts@spline-network.co.jp